

	自校・親子方式案		統合センター新築案		対雁調理場新築案		センター調理場の増築案		民間事業者デリバリー方式導入案	
調理場体制	共同調理場なし		1場体制		2 場体制		1場体制		市所有調理場なし	1場体制
改修等概要	各小中学校の改築にあわせて順次切替え		・センター調理場及び対雁調理場を合築 ・現施設の廃止		対雁調理場食数分の調理場を新築		センター調理場に対雁調理場食数分の機能を増		小中学生に導入 両調理場の廃止	中学生に導入（対雁廃止） ※小学生はセンター調理場から学校給食を提供
食数	9200食（各学校調理）		9200食（統合センター）		2700食（対雁調理場） +6500食（センター調理場）		9200食 （センター調理場）		9200食 （デリバリー方式）	6200食（センター調理場） +3000食（デリバリー方式）
建設費用概算（税抜）	7 0 億円		5 5 億円		2 5 億円		1 5 億円		—	—
学校施設環境改善交付金（試算値）	5億6,000万円		4億5,000万円		1億8,000万円		5,300万円		—	
2 0 年間で要するコスト （施設建設費含む）	204億2,990万円	211億9,870万円	141億2,470万円	136億2,420万円	122億4,080万円	119億2,120万円	106億9,850万円	101億9,800万円	98億8,970万円	102億7,470万円
運営方法	直営調理	調理委託	直営調理	調理委託	2 場直営調理	対雁調理場のみ委託	直営調理	調理委託	調理なし	センター調理場直営
	※直営調理、調理委託において、「給食の質」「衛生管理」に差は生じない。									
栄養教諭の配置	8 名（+ 3 名）		3 名（△ 2 名）		5 名（± 0 名）		3 名（△ 2 名）		配置なし	3 名（△ 2 名）
メリット	喫食時間に合わせた調理が可能。		施設の統合により、運営費の削減が見込まれる。		現状の運営体制から変更が生じない。		施設の統合により、運営費の削減が見込まれる。		民間事業者の食育ノウハウを活用できる。	
	温かい給食が提供しやすい。		現状の課題等の解決につながる施設を建設できる。		※設置場所によっては、配送距離等に変更が生じる。		建設コストは他の施設整備手法より安価となる。		施設維持に係るコストを削減できる。	
	事故が起きた際に、被害は最小限になる。		新機能、新設備を追加しやすい。		リスク分散（食中毒、災害等）ができる。				児童生徒数の増減、将来的なセンター調理場の建て替えに柔軟に対応できる。	
			米飯を自炊化しやすい。						リスク分散（食中毒、災害等）ができる。	
デメリット	衛生管理等について学校ごとの個別管理の徹底が必要。		建設コストが最も高い。		人件費、運営費において削減は見込めない。		給食の供給停止（3 カ月程度）が生じる。		調理委託と同様なデメリットが生じる。	
	学校ごとに建設スペース、人材確保が必要。		配送距離が長くなる場合がある。		環境変化に対応しにくい。（今後も 2 場		継ぎはぎとなるため、調理・洗浄等で効率的運営は望めない。		運営方法に変更が生じる場合がある。	
	建設費・調理機器等購入費・人件費など一番コストがかかる		現センター調理場（築 2 3 年）の処分に課題が残る。		・労働人口減少に伴う、人材の確保が困難。		職員の環境整備（トイレ、休憩室、駐車場等）が課題。		全面導入した場合は、献立作成が困難。	
	給食センター独自に改築計画を策定できない。		1 献立とした場合、米飯業者の調理能力、食材納品が課題。		・児童生徒数の減少に合わせた、規模の縮小を行いにくい。		1 献立とした場合、米飯業者の調理能力、食材納品が課題。		栄養教諭の配置減に伴い、食育に工夫が必要。	
	事業期間がとても長い。		栄養教諭の減に伴い、食育に工夫が必要。		・今後の統合は困難。		仕様が確定しないため、建設コストが見込みにくい。			
			事業期間が長い。		事業期間が長い。		栄養教諭の減に伴い、食育に工夫が必要。			
1 食単価（税込） ※食材費	小学校低学年 3 1 7 円 中学年 3 2 0 円 高学年 3 2 3 円 中学校 3 8 5 円		小学校低学年 3 1 7 円 中学年 3 2 0 円 高学年 3 2 3 円 中学校 3 8 5 円		小学校低学年 3 1 7 円 中学年 3 2 0 円 高学年 3 2 3 円 中学校 3 8 5 円		小学校低学年 3 1 7 円 中学年 3 2 0 円 高学年 3 2 3 円 中学校 3 8 5 円		小学校低学年 2 9 5 円 中学年 3 1 7 円 高学年 3 3 8 円 中学校 3 6 0 円	小学校低学年 3 1 7 円 中学年 3 2 0 円 高学年 3 2 3 円 中学校 3 6 0 円
アレルギー対応	パンの代替品 卵製品・カップ納豆の代替品 卵料理の除去食		パンの代替品 卵製品・カップ納豆の代替品 卵料理の除去食		パンの代替品 卵製品・カップ納豆の代替品 卵料理の除去食		パンの代替品 卵製品・カップ納豆の代替品 卵料理の除去食		（参考：他自治体事例） 除去対応・2 8 品目アレルギー代替・2 8 品目アレルギー以外代替	

大規模修繕	今後、築 2 0 年を超えるセンター調理場の大規模修繕を検討していく必要がある。 大規模修繕に係る費用は、概ね 2 5 億円程度と試算される。（新築する場合の 6 割程度）
-------	--

イメージ図

学校調理場

学校調理場

学校調理場

・

・

・

・

センター調理場

対雁調理場

統合

統合センター

センター調理場

対雁調理場

建替

対雁調理場

センター調理場

対雁調理場

増築

増築

センター調理場

対雁調理場

民間施設





（現在と同様な食缶方式により配送）